

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

急性期診療における支持療法としての
リハビリテーション診療が生命予後と機能回復に与える影響

1. 対象となる患者さん

2006年1月～2030年12月の間に当院でリハビリテーション診療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 リハビリテーション医学講座 城戸 顕

3. 研究の目的と意義

急性期治療の進歩とともに生命予後は改善しており、急性期の様々な病気や怪我に対してリハビリテーション治療が行われています。急性期の治療には手術や薬物治療、放射線治療などに加えて、症状の緩和を目的とした緩和治療なども行われています。また近年、日常生活動作能力の維持と廃用の予防のため、あらゆる病気や怪我に対してリハビリテーション治療が行われることが増えています。この研究は、リハビリテーション治療が行われた急性期の患者さんの生命予後や機能的評価を領域横断的に解析し、新しいリハビリテーション診療の可能性を探索します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、リハビリテーション診療が生命予後や機能的評価に及ぼす影響を解析します。

5. 使用する情報

診療情報：診断名、年齢、性別、身長・体重、既往歴、併存疾患、投薬歴、血液検査所見、画像所見、病理学的所見、リハビリテーション診療において採取した機能評価データ、原病臓器・疾患機序、手術療法（術式、手術日）、薬物療法、放射線療法（照射量）、看護専門職によるケア介入、リハビリテーション診断（障害診断）、リハビリテーション治療（期間、訓練回数、訓練内容）、転帰、義肢・装具の運用に関する基礎情報、有害事象、合併症（Clavien-Dindo 分類）、薬物療法・放射線療法の効果判定（完全奏功、部分奏功、進行、安定）

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 リハビリテーション医学講座 城戸 顕

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2031年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 リハビリテーション医学講座 城戸 顕

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：akirakid@naramed-u.ac.jp